



広報

ごよみかわら

発行所
五所川原市役所
411号
昭和52年11月15日
印刷 西北印刷

市の人口 男 25,267人
52,281人 女 27,014人

世帯数 14,160

(昭和52年11月1日現在) 住民基本台帳から



文化・市褒賞は四氏

昭和五十二年度の市文化褒賞・市褒賞の授賞式は、さる十一月三日・文化の日

に市長公室で行われ、社会学分野で優れた業績をあげた市内中泉出身で北海道大学教授の関清秀氏ら四人に授与されました。

また受賞者の夫人には、内助功労章が贈られました。

関連記事二面へ



関、成田氏に文化褒賞 市褒賞は神、佐藤氏に

文化褒賞

授賞式では、寺田市長が四氏のこれまでの労苦をねぎらい功績をたたえて式辞を述べたあと、受賞者一人一人に褒賞状と勲章を授与しました。
次いで、来賓の福士市議会議長、村上商工会議所会頭らからお祝いの言葉があり、これに対し受賞者を代表し関氏が、「褒賞を機になおいつそう精進し、微力ながら郷土のために励みたい」と謝辞を述べました。
以下に文化褒賞・市褒賞を受けた四氏を紹介します。

社会学に優れた業績

関 清秀氏(六〇)

札幌市豊平区月寒西一条五丁目



市内中泉出身。東京帝国大学文学部を卒業後、当時の企画院、内務省、総理府で国土・都市計画の立案を担当した。

昭和二十二年、北海道大学助教授となり専攻の社会学講座などを担当、教授となつたあと現在まで同大学・大学院の環境科学研究科長などの職についています。
また、公的には北海道の社会福祉・開発・公害対策に尽力され、現在道総合開発委員会委員等を勤めるかたわら、日本社会学会理事、アメリカ人口学会・同社会学会会員の要職についてい



地域文化の発展に貢献

成田 治逸氏(66)

市内旭町74



これまで、「都市の青少年」、「地域開発と社会変動」等数多くの研究成果を著わし、学術論文「津軽一山村の社会構成」等を発表豊かな学識と優れた業績は国内はもとより海外でも高く評価されています。
▽内助功労章 文子さん

五所川原尋常高等小学校高等科卒業と同時に写真の道に入る。風景写真にとりくみながら写真館に勤め、

市褒賞

地方自治の確立に尽力

神 伊三郎氏(八二)

市内上平井町九九



慶応義塾大学理財科卒。帰郷し家業の商業 継いでいたが、地域住民に推されて五所川原町会議員になる。昭和二十二年、五所川原町長に就任、戦後と二度

後、東京オリエンタル写真学校を卒業、写真業を始め現在に至っています。
昭和十七年、当時白戸正男氏が主宰する短歌会・八人会の活動に感動し短歌の道に入り、以来三十数年間短歌の創作を続け、その間五所川原短歌会を結成し、現在会長として後輩の育成に努めています。
これまで、県文化振興会議常議員等の要職を勤めるかたわら、中央・地方の各種大会で上位入賞し、県内短歌大会の選者としても活躍、各種の歌集に数多くの作品を発表しています。
地域文化の発展と後輩の指導・育成に貢献しています。さる六月、青森県歌人功労賞を受賞しています。
▽内助功労章 ハルさん

の大火による混乱期を町の復興と進展に尽力されました。
次いで、県議会議員として県政に参画、同時に県監査委員にも選ばれ戦後の地方自治の確立に大きく貢献しています。一方、経済界でも活躍され、西北信用組合の設立に参加し、創立とともに専務理事に、また県下六信用組合の合併で県信用組合常務理事にそれぞれ就任し、昭和五十一年に退

市営住宅の入居者を募集

広 田 団 地

◆ 所 在 地

五所川原市みどり町1丁目

◆ 募 集 戸 数

オ1種 (親子住宅) 6戸

オ2種 (一般住宅) 48戸

◆ 家 賃 等

オ1種 (親子住宅) 月1万9千円位

オ2種 (一般住宅) 月1万6千円位

敷金は家賃月額の3カ月分

◆ 募 集 期 間

11月18日から11月28日まで

◆ 選 考 の 方 法

申込書を審査し適格者について公開抽せんします。

◆ 抽 せ ん 日 ・ 場 所

適格者については後日連絡します。

◆ 入 居 予 定 日

オ1種 (親子住宅) 明年1月中旬の予定

オ2種 (一般住宅) 12月16日の予定

◆ 申 込 先

市窓口サービス課市民係

(☎5局2111番、内線274、275番)

◆ 所 他

これまで空家住宅入居申込書を提出された方でも新規募集ですので新たに申込んで下さい。

◆ 構 造 ・ 規 模 ・ 入 居 資 格 等

種 別	構 造	規 模 (設備内容)	入 居 資 格
第 1 種 (親子住宅)	簡易耐火 平屋建て	67.10㎡6畳 (3室の内1室は老人室) 居間 (1室) 台所、物置、自転車置場 洋風暖掛便器、非常用ブザー、インターホン、常夜灯、老人室には手すり、浴室、浴槽、バランス釜、換気扇、押入 (3カ所) 床の間あり	①市内に居住または、勤務場所を有し親 (65歳以上) を終身扶養する意志があり親、子、孫が同居出来る世帯 ②住宅に困っている方 ③市税・所得税等を滞納していない方 ④政令で定める収入基準である方
第 2 種 (一般住宅)	中層耐火 4階建て	62.00㎡6畳 (2室) 4.5畳 (1室) 台所兼居間、浴室、押入 (2カ所)	①市内に居住または、勤務場所を有し同居親族 (婚約者を含む) のある方 ②住宅に困っている方 ③市税・所得等を滞納していない方 ④政令で定める収入基準である方

◆ 政 令 で 定 め る 収 入 基 準

種 別	扶養親族 収入基準	人					
		0	1	2	3	4	5
第 1 種	47,000円	1,064,000円	1,341,999円	1,705,999円	2,049,999円	2,391,999円	3,067,500円
	81,000	1,603,999	1,945,999	2,289,999	2,631,999	2,975,999	3,277,500
第 2 種	47,000	1,064,000	1,064,000	1,705,999	2,049,999	2,391,999	2,735,999
	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下

西郡柏村出身。青森県立青森高等女学校卒。若くして地域婦人の信望を集め、



市政の発展に寄与 佐藤サタ氏 (六九)

市内梅田字平野九

旧梅沢村婦人会長に推され、今日まで四十数年間にわたる地域婦人のリーダーとして活躍しています。
昭和三十五年、市婦人連絡協議会長に就任し現在まで長年にわたり市内婦人団体の総元締として活躍、婦人の地位向上に尽力して

今年で三十周年を迎えま

者として終始一貫、市の発展に尽力しています。
▽内助功労章 幸さん
一方、市明るい選挙推進協議会長、日赤奉仕団市委員長、市公害対策審議会委員、市社会福祉協議会役員など数多くの市の要職につかれ優れた指導・実践力で社会教育、福祉対策をはじめ市政全般にわたる進展に大きく寄与しています。

共同募金

大口開拓特別 委員を設ける 引き続きご協力を

赤い羽根でおなじみの「共同募金」も、昭和二十二年にオ一回運動を展開し、今年で三十周年を迎えま

た。
ご承知のようにこの運動は、助け合いの精神を基に市民一人一人が明るく楽しい生活を実現することにあります。
本年度も十月一日から二百七万円の日目標額を定め、皆さんのご協力で募金運動

を展開してきました。しかし、募金運動のなかで、当市ではとくに低調といわれる大口 (法人・個人) 募金の開拓を図るため「大口募金開拓特別委員」制度を設けましたのでご協力願います。

らまし

財政状況から

皆さんに公表しています。

ましについてお知らせするものであり、皆
いるかを知っていただき、市政に対するご

地方自治法第243条3第
1項の規定および五所川原市
「財政状況」の公表に関する
条例第2条により、昭和52年
9月30日現在における財政状
況を公表します。

昭和52年11月10日
五所川原市長 寺田 秋夫

(昭和51年度) 一般会計決算

(単位千円)

歳入総額 6,584,939
歳出総額 6,518,628
実質収支額 66,311

歳 出		(単位千円)	
款	支出済額	決算額の 構成比	
1 議会費	71,430	1.1	
2 総務費	948,974	14.6	
3 民生費	1,567,641	24.0	
4 衛生費	403,875	6.2	
5 労働費	89,487	1.4	
6 農林水産業費	472,970	7.3	
7 商工費	157,379	2.4	
8 土木費	1,051,851	16.1	
9 消防費	317,315	4.9	
10 教育費	1,017,726	15.6	
11 災害復旧費	38,798	0.6	
12 公債費	315,678	4.8	
13 諸支出金	65,504	1.0	
14 予備費	0		
計	6,518,628	100.0	

歳 入		(単位千円)	
款	収入済額	決算額の 構成比	
1 市 税	1,193,929	18.1	
2 地方譲与税	56,987	0.9	
3 自動車取得税交付金	43,268	0.7	
4 地方交付税	1,720,834	26.1	
5 交通安全対策特別交付金	4,576	0.1	
6 分担金および負担金	245,039	3.7	
7 使用料および手数料	73,996	1.1	
8 国庫支出金	1,458,241	22.1	
9 県支出金	395,943	6.0	
10 財産収入	112,556	1.7	
11 寄附金	11,100	0.2	
12 繰越金	17,991	0.3	
13 諸収入	533,379	8.1	
14 市 債	717,100	10.9	
計	6,584,939	100.0	

○住みよい街づくり

- 1) 道路改良整備事業 215,968
- 2) 区画整理事業 87,440
- 3) 下水道整備事業 57,769
- 4) 公園整備事業 66,562
- 5) 街路整備事業 35,287
- 6) 塵芥収集車購入費 3,900
- 7) 交通安全事業費 4,628
- 8) 除雪車購入費 9,750



○農政を重点とした産業の振興

- 1) 広域農道整備事業 53,342
- 2) 農業構造改善事業費 45,442
- 3) 農業災害復旧事業 36,113
- 4) 国土調査事業費 14,653
- 5) 農業センター整備費 7,499
- 6) 公有林整備事業 4,046



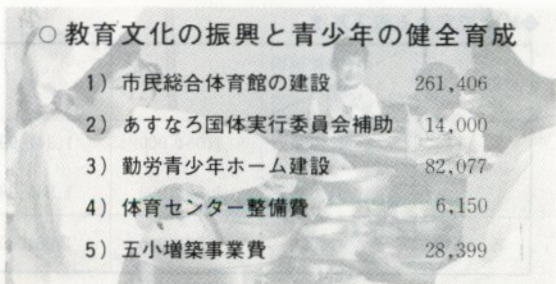
○高福祉社会への推進

- 1) 公営住宅の建設 320,658
- 2) 消防施設整備事業 73,769
- 3) 病院整備対策費 76,760



○教育文化の振興と青少年の健全育成

- 1) 市民総合体育館の建設 261,406
- 2) あすなろ国体実行委員会補助 14,000
- 3) 勤労青少年ホーム建設 82,077
- 4) 体育センター整備費 6,150
- 5) 五小増築事業費 28,399



(昭和51年度) 特別会計決算

	収入済額 (収入率)	支出済額 (支出率)
国民健康保険事業	1,385,105 (98.7%)	1,371,866 (97.8%)
長者森平和公園造成事業	38,030 (59.6%)	37,163 (58.2%)
市立高等看護学院	27,336 (99.3%)	27,336 (99.3%)

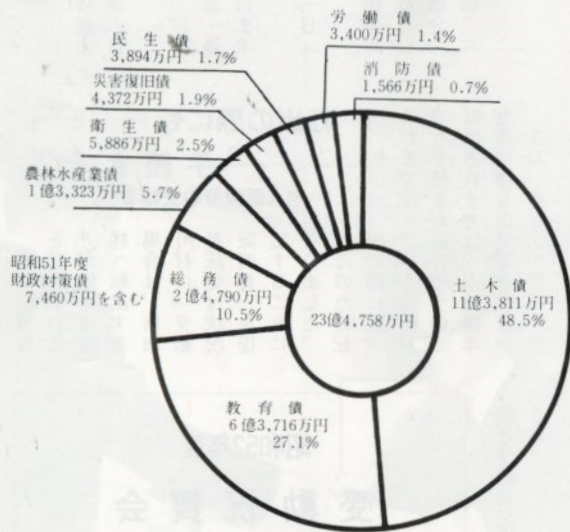
市財政のあ

52年度・上半期の

市では、毎年2回にわたって市の「財政状況」を市民の今回は、昭和52年度一般会計予算の執行状況などのあらさんから負担していただいたお金が、どのように使われて協力をお願いするものです。

(昭和52年度) 一般会計現債額

(昭和52年9月30日現在)



(昭和52年度) 特別会計の執行状況

(単位千円)

(昭和52年9月30日現在)

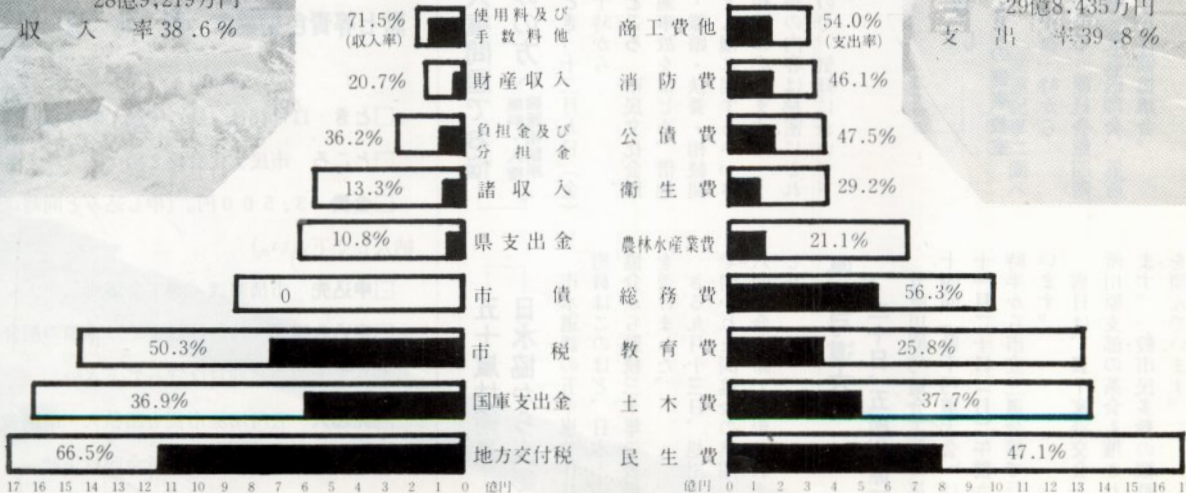
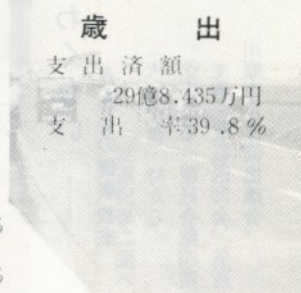
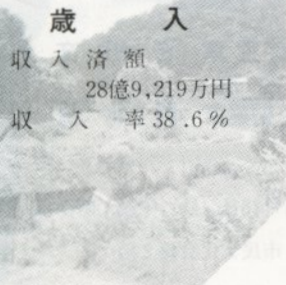
事業名	予算額	収入率 (%)	支出率 (%)
国民健康保険事業	1,627,853	35.0%	32.2%
長者森平和公園造成事業	42,600	16.9%	79.5%
市立高等看護学院	28,273	2.9%	43.1%

(昭和52年度)

一般会計歳入歳出予算執行状況

(昭和52年9月30日現在)

歳入歳出予算額 74億9,472万円



歳末の助け合いにご協力を

十二月一日から十二月二十日まで、「歳末助け合い運動」が始まります。すべての市民が、年末年始を明るく楽しく過ごせるよう、皆さんのご協力をお願いします。

なお、昨年度は、生活保護家庭五百九十四人、寝たきり・独り暮らし老人百五十人、施設入所者百七十人など、生活に困っている人合わせて九百五十五人に義援金が配分されました。

▼とき 十二月十一日(日) 午前十時から
▼ところ 市民文化会館
▼入場整理券 一枚三百円
▼で、市社会福祉協議会(☎5211-1番・内線二六五番)にあります。

歳末助け合い 芸能祭開く

肉親と十数年ぶりの対面

毘沙門出身の山口淳子さん



市内毘沙門出身で、中国浙江省庫車県に住んでいる山口淳子さん(四三)は、中国名・梁桂珍・写真がこのほど一時帰国し、肉親と十数年ぶりの対面をしました。

淳子さんは、昭和十二年

市内吹畑に住んでいる母キエさん、弟逸雄さんとは十二年ぶり、兄英逸さんとは十九年ぶりの対面をはたし、生まれ故郷での生活を楽しんでいきます。

淳子さんは、六カ月ほど滞在します。

転出の際にも 手続きを

老人医療費の受給者へ

老人医療費を受けている方が他の市町村へ転出する場合は、新市町村に「受給者証交付状況証明書」を提出することにしました。

このため転出の際には、これまで住んでいた市町村でも手続きが必要ですので転出される方は、市健康年金課に申し出て下さい。

なお、申し出の際は、印

昭和52年度 受勲祝賀会

- 勲五等瑞宝章 秋田 修次
- 勲五等瑞宝章 小田桐 源太郎
- 勲六等瑞宝章 岩田 文雄
- 勲七等青色桐葉章 阿北 勇造

□とき 11月28日(月) 午後1時から
□ところ 市民文化会館2階
□会費 3,500円。(申し込みと同時に納入して下さい。)

□申込先 市情報課・商工会議所
□申込み締切 11月22日まで。準備の都合もありますので、期日は守って下さい。
□発起人 五所川原市長寺田秋夫・市議会議長 福土孝一・商工会議所会頭村上純一

小包は十二月十五日までお出し下さい

毎年十二月に入りますと贈答用品などで小包・郵便が混雑しますので、年内配達ご希望の小包は、十二月十五日までお出し下さい。

また、十二月十五日からは、年賀状の引き受けをします。これも、元日配達のため十二月二十日までお出し下さい。

あて先には、必ず郵便番号を書き、町名には番地まで、公営住宅などには棟番号、住宅番号を、アパート内や子供さんなど家族あてのものにはアパート名や世帯主名も書いて下さい。

人権問題でお悩みの方へ

無料・人権擁護相談所

午前十時から

□とき 十二月九日(金)

なお、差し出しの際は、「市内」、「西・北郡」、「県内」、「その他」に区分けし、たばねてお出し下さい。

(五所川原郵便局)

相談の内容は秘密にされますので、気軽においで下さい。

高血圧はこわくない

みんなの健康教室

(火)午後一時から

□ところ 産経会館四階

主催・北五医師会、五所川原市民保健協議会。

□とき 十一月二十九日

五十嵐技術員 日水協から表彰

市水道課の五十嵐竹作技術員はこのほど、日本水道協会から動続三十年の表彰を受けました。

さる九月十三日、旭川市で開かれた同協会の第四十六回総会の席で表彰されました。

県下弓道大会

二十日、五所川原で

五所川原弓道会主催の第十四回「県下弓道大会」は、十一月二十日(日)午前九時半から市立三道会館で行います。

当日は、裏千家淡交会五所川原支部の茶会も催されます。一般市民多数の観戦を望んでいます。

広報紙の早期配布にご協力願います